

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年 11月12日

【評価実施概要】

事業所番号	“0175000173
法人名	社会福祉法人 北見睦会
事業所名	グループホーム かがやきの里むつみ2号館・3号館
所在地	北見市美芳町10丁目1-5 (電話) 0157-24-7781
評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成20年10月29日

【情報提供票より】(20年8月31日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 17 年 12 月 21 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	21 人 常勤 13人, 非常勤 8人, 常勤換算 7.1人

(2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建ての 2階 ~ 3階部分
------	-------------------------------

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	45,000~50,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,000 円				

(4)利用者の概要(8月31日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	6名		
要介護3	2名	要介護4	7名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.3 歳	最低	59 歳	最高	100 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	総合病院北見赤十字病院 ・ 医療法人社団 金山歯科医院
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームかがやきの里むつみ2号館3号館は、商業地域を控えた住宅街に建てられ、1階にはデイサービスセンター、2・3階がグループホームとなっています。すぐそばに石北公園があり、利用者の散歩コースとなっています。利用者は週1度デイサービスに通い、通所者と一緒に歌やゲームを行い交流を図っています。7月には『かがやき祭り』を開催し、利用者・家族、デイサービス通所者の他、地域の方達にも案内を配り多くの方が集まり、屋台やボランティアの出し物、プロ歌手であり利用者の姪御さんによる歌謡ショーなど内容豊富でとても楽しんでます。クリスマス会には、職員の出し物や職員手作りの豪華な料理が並び家族と共に楽しく過ごしています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での改善として、利用者との馴染みの関係の維持向上に努め、グループホーム協議会主催の研修会にも積極的に参加し、より多く勉強出来る様取り組んでいます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義は理解しており、職員ひとり一人が自己評価したものを管理者が纏め取り組んでいます。外部評価についても会議等で話し合い質の向上に努めています。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、町内会会長、町内会婦人部長、民生委員、包括支援センター職員、家族、デイサービスセンター職員、グループホーム管理者・職員等多くの方が参加しています。会議では、ホームの概要説明、利用者の様子、行事等の報告の他、家族や町内の方からも意見が出され話し合いがされています。議事録も作成されています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月請求書と一緒にホームの様子を写真入で紹介しているホーム便り『かがやきめーる』と、利用者の様子が毎日書かれている一行日誌のコピーを送っています。家族の訪問時には、家族の思いや意見が聞ける様積極的に話し掛け取り組んでいます。家族との親睦を深めるよう焼肉パーティーを開催し、話し易い雰囲気作りに努めています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入しています。グループホームを理解して頂けるよう地域の方に『かがやき祭り』の案内を配ったり、積極的に挨拶するよう心掛けています。大正琴のボランティアや、合唱団の練習や発表会等で地域の方と交流を図っています。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体の総合理念に基づいた解り易く親しみ易い理念『ゆっくり、すこしずつ、自分らしく、ありのままに』を作り上げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日朝のミーティング時に理念を復唱し、また、ホーム内の見易い場所に理念を提示し常に理念を意識しながら支援できる様努めています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し総会にも出席しています。散歩時には、地域の方に積極的に挨拶をする様心掛けています。利用者は、週1度1階にあるデイサービスに通い、通所者と交流しています。	○	地域行事に積極的に参加し地域の方との交流・理解を深め、ホームに気軽に立ち寄ってもらえるよう更なる取組みを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義は理解しており、職員ひとり一人が自己評価を行い管理者が纏め作成しています。外部評価についても、ミーティングで話し合い質の向上に努めています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、町内会役員・包括支援センター職員・民生委員・家族・管理者・職員等で構成され、ホームの概要や行事等の報告など意見が出されています。議事録は作成されていますが、配布はされていません。	○	定期的な運営推進会議の開催と、議事録の配布、また自己評価及び外部評価の結果を公表しながら、委員の助言を得るなど、運営推進会議と評価が一体的に活かされるよう配慮し、サービスの質の向上に期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の主催による研修会等に参加する他、必要に応じ指示を仰ぐなど、サービスの質の向上に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求書送付時に、利用者の毎日の様子を書いた一行日誌のコピーと、ホームの行事予定や行事の写真を掲載したホームだより『かがやきめーる』を送っています。家族訪問時にも、ホームでの様子を伝え積極的に話すよう心掛けています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置はありますが、家族が訪問した時に意見・苦情等が言い易い雰囲気作りに努めています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者との関係を大切にし、異動・離職があった場合には利用者のダメージを必要最小限におさえる様、言葉掛け等に配慮しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会主催や系列法人主催の研修会や講習会に参加しています。ミーティングで研修報告を行い、研修に参加出来ない職員も勉強出来るように、情報の共有を図っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会主催の研修等や、いくつかのグループホーム利用者で構成されている合唱団に参加しており、練習等を通じて交流がされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があつた場合、本人・家族に見学に来てもらいホームの様子を理解して頂くよう努める他、ご自宅を訪問し本人の話を聞くと共に生活環境等把握し安心してサービスが受けられる様配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、共に生活する利用者の言動から技術を学んだり、勇気づけられたりすることに気づいており、そのことを大切にしながら支援をしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の生活歴・個人史を尊重し、また日々のかかわりのなかでの言葉や表情から利用者の意向や希望を把握し、職員間で検討しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるよう、本人・家族の思いや意向を反映させるよう会議において職員間で話し合い、介護計画の作成に努めています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的なモニタリングによる見直しを行い利用者の状態変化を把握し、家族に納得し理解してもらええる支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者は、週1度1階のデイサービスセンターに通い体操やゲームを行い地域と交流しています。また、ショートステイの利用も受け付けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望による医療機関への受診が出来るよう支援しており、診断内容等の情報の共有もなされています。協力医による往診も行っており、緊急時の体制も整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及び看取りに関しての指針を定めており家族に説明がされています。又、職員間で話し合いがされ意思の統一がされています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、個人情報の取扱いには十分気をつけるよう心掛けています。利用者を否定するような言葉掛けや対応はしないよう気をつけ、入浴や排泄時などはプライバシーが守られるよう配慮しています。記録等は鍵の付いた保管庫にて管理しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は業務を優先することなく、出来る限り利用者の希望に添った支援をするよう心掛けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に食材を買いに行く、野菜の下ごしらえなど利用者が出来ることを一緒に行っています。家族に頂いた野菜で利用者と一緒に漬物をつけ、食卓に上がると話も弾みます。誕生日には、利用者の希望のメニューにするなど工夫しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望者は毎日入浴できる体制ですが週2・3回の入浴を目安とし、利用者のその日の体調や希望により、入浴を楽しんでもらうよう言葉掛等に努めています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	インテーク等で、出来る限りの情報を聞き取りし利用者の支援に役立っています。手作りのお弁当を持参して、フラワーパラダイスや訓子府レクリエーション公園に出掛けるなど楽しみにしています。歌を歌うのが好きな利用者は合唱団に参加し練習や発表に励んでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調・希望により散歩や買物等の支援を行っています。合唱団の練習やデイサービスの利用等も含め戸外に出る機会としています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者・職員は、鍵を掛けることの弊害について理解しています。防犯の為、午後8時に表玄関、午後10時にユニット玄関の施錠を行っています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署の指導の基、消火訓練や避難訓練を行っています。運営推進会議等を活かし、地域住民の協力が得られる様働きかけています。	○	あらゆる場面を想定した訓練が必要だと思われます。ホーム職員のみならず、地域住民参加の避難訓練の実施が出来るよう地域住民の体制作りを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量・水分量を記入し職員で情報の共有が来ています。定期的に管理栄養師にアドバイスをもらい栄養バランスに気をつけた支援をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内には、大きな窓があり日当たりが良く居心地の良いスペースとなっています。利用者がゆっくり過ごせる様、観葉植物を飾り通路等にはソファが置かれ、それぞれ落ち着ける場所があります。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、タンス・ベット・テレビなど思い出のある家具や調度品が持ち込まれ安心して生活出来るよう配慮しています。		